

日常に悪影響 抜歯を

おくちの相談室

親知らずは20歳前後で生えてくるので、スペースが狭く中途半端に生え、骨の中に埋まったまま出てこなかったり、横や斜めに生えてきたりすることが多く、完全な形で生えてくる人は少数です。また、年齢がたつほど骨が硬化し抜歯が困難になる傾向があります。

【答え】確かに親知らずの抜歯となると、不安が強いと思います。しかし、ご相談のような状況ですと、一般的には抜歯をお勧めする場合があります。

【問い】右奥の親知らずが横向きに生えており、痛みと腫れを繰り返しています。かかりつけの先生に抜歯を勧められましたが、抜歯に不安もあり悩んでいます。(長崎市、27歳女性)

おそらく右奥の歯は親知らずが横向きに生えて歯磨きが難しい状態で、口の中の細菌が親知らずの周りに感染して炎症を起こし、腫れや痛みが出ている状況です。食事や日常生活にも影響が出ているかもしれません。症状が治まった後も細菌の感染が残るため、腫れや痛みを繰り返すようになります。

そのままにすると隣の歯がむし歯になったり、親知らずが、隣の歯を支えている骨を吸収したりといった悪影響が生じる可能性があります。口臭の原因にもなります。

ただ、親知らずの下には神経(下歯槽神経)があり、抜歯のときは十分に考慮する必要があります。抜歯のタイミングやリスクについて、かかりつけの先生とよく相談してご判断ください。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します。(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒8552-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

親知らずの痛み

回答者 足立 真基 長崎市中野町 あたち歯科クリニック院長

